

平素より、患者さんのご紹介をいただき、有難うございます。当院では、小児科以外は予約制で診察を行っております。患者さんのご紹介に際しましては、紹介状をご用意いただき事前のご予約を、お願い申し上げます。

事前に必ずご予約を

医療機関からのご予約は 地域連携直通電話・FAX へお願いします。

TEL: 047-458-6543 FAX: 047-458-6545

- ・ 受付時間: 月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:30
※ 日曜、祝日、毎月第3土曜日、12/5(創立記念日)、12/30～1/4 はお取り扱いしておりません。
- ・ 時間外の場合は FAX を送信してください。翌受付時間内にお返事いたします。

患者さんからのご予約は 電話予約センター にて承ります。

予約センター電話番号: 047-458-6600 (患者さん専用)

- ・ 最初に音声ガイダンスが流れます。紹介状をお持ちの患者さんは 1 を押していただきます。
- ・ 受付時間: 月～金 9:00～16:00 土 9:00～11:30
※ 日曜、祝日、毎月第3土曜日、12/5(創立記念日)、12/30～1/4 はお取り扱いしておりません。
- ・ 予約時間等の変更時にも、必ず電話にてご連絡ください。

■検査連携について

- ・ 検査連携は、医療機関からの依頼のみの受付になります。直接、患者さんからの受付は出来ません。
- ・ 連携検査: CT、MRI(単純)、RI、X-P、マンモ、骨密度、セファロの画像検査のみです。

■やちよ夜間小児急病センターについて

- ・ 専用電話番号: 047-458-6090 (医療相談は行っておりません)
- ・ 受付時間: 18:00～23:00
※予約は必要ありませんので、直接ご来院ください。

地域医療連携フォーラム開催のご報告

平成 29 年 3 月 16 日 (木) 当院外来棟 4 階大会議室及び第 1 病棟 1 階職員食堂にて、「平成 28 年度東京女子医科大学八千代医療センター地域医療連携フォーラム」を開催いたしました。日頃よりお世話になっている八千代市の医師会・歯科医師会・薬剤師会をはじめ、近隣の医師会・歯科医師会・薬剤師会、地域医療支援病院における連携登録医の先生方のほか、メディカルスタッフや行政関係者等を含め、総勢 166 名 (院外 95 名、院内 71 名) の方々にご参加いただきました。この場をお借りしまして改めて感謝申し上げます。

第一部の講演会では循環器内科長の春田昭二より「八千代医療センター循環器内科の開院後の 10 年とこれから」、泌尿器科長の乾政志より「泌尿器科最新情報～ロボット支援手術から腎移植まで～」をテーマに講演いたしました。開院 10 周年を迎えた当院において、これまでの歩みを振り返りつつ、新たな 10 年に向けたメッセージも込められた講演会となりました。第二部の懇親会・意見交換会では職員食堂に会場を移し、参加者同士が職種を超えて交流する場面もみられ、まさに顔の見える連携関係構築において大変貴重な機会となったと考えております。

次回の開催につきましては、平成 30 年 2 月を予定しております。詳細が決まり次第、改めてご案内させていただきます。皆様におかれましてはご多忙の折とは存じますが、多くの方にご参加いただき、ご指導ご鞭撻を賜りたく、何卒宜しくお願いいたします。

2017.5
発行

東京女子医科大学 八千代医療センター 医療支援ニュース

greens

ぐりーんず

第 18 号

理念: 地域社会に信頼される病院としての心温まる医療と急性期・高機能・先進医療との調和

～ 基本方針 ～

- ・ 本学の理念である「至誠と愛」に基づき、皆さまに信頼される病院を目指します。
- ・ 患者さんのプライバシーを守り、一人ひとりの権利を尊重します。
- ・ つねに最先端の医療技術と知識を用いて、安全で良質の医療を提供します。
- ・ 患者さんに合った最善のチーム医療を行います。
- ・ 中核病院として地域の診療所・病院等との連携を推進し皆さまの健康を維持・増進します。



平成 28 年度には 501 床に増床され、新たな第 2 病棟にはヘリポートも完備した救命救急センター、SCU、がん関連病棟も新設致しました。現在、臨床研修指定病院、総合周産期母子医療センター、全県対応型小児連携拠点病院、地域災害拠点病院、地域医療支援病院、DPC II 群 (高密度診療病院)、小児総合医療施設 (全国で 30 番目)、がん診療連携協力病院、DMAT 指定医療機関、病院機能評価、救命救急センターなどの認定を受けております。

今後ますます増える虚血性心疾患 (Heart Center)、脳血管障害 (SCU)、悪性新生物 (がんセンター)、糖尿病や精神神経疾患などの成人医療や小児周産期疾病における千葉県の拠点病院になっていくと思われれます。高度急性期医療、周産期・小児や救急医療のみならず、さらに公開講座などを通じて未然に病気を防ぐ予防医療体制も今後整備していく所存です。

また、専門医制度における基幹病院としての役割を果たしていかなければなりません。今後ますます地元医療機関の皆様方と相互連携を密にして、地域に密着した医療、地域医療機関相互との機能分担、自己完結型から地域完結型医療、医療から予防を key word に 21 世紀型の地域中核病院を目指してまいります。

平成 29 年 5 月

病院長 新井田 達雄

新副院長からのご挨拶

平成 29 年 4 月から医療局担当の副院長を拝命しました形成外科の竹内です。

医療局は 35 の診療科で構成される部局で、平成 29 年 4 月 1 日現在、常勤医師数 202 名、非常勤医師数 134 名となっています。年ごとに医師数は増加しており、昨年 8 月の第 2 病棟完成に伴う病棟の再編と増床に対応して、より充実した急性期を担う高機能病院の体制づくりを担っております。また日本専門医機構と基本領域学会が整備を進めている新専門医制度が平成 30 年度より本格的にスタートする予定ですが、内科、外科、産婦人科、小児科、救急科、麻酔科、病理科が当センターを新研修プログラムの基幹施設として、他の診療科は連携施設として、専攻医を受け入れる体制であり、さらなる医師の増員が期待されます。

八千代医療センターでは、各々の診療科が専門性の高い医療を提供していることはもちろんですが、開院以来、異なる診療科の医師どうしが同じ医局の部屋に机を並べていることで、診療科間の垣根が低くなり、横断的な院内連携がとりやすい体制にあります。今後、医師数が増加しても、密な横断的連携と情報共有が円滑にかつ迅速に行えるようなシステムなどソフト面の構築とともに、働く意欲が高まるよう、医局の環境整備などのハード面の充実を図ることで、延いてはこれまで以上に患者さんのニーズにお応えできるような医療が提供できるように努めていきたいと存じます。

さらに現在、八千代医療センターが患者さんならびに地域から求められる安全・安心で快適な病院になることを目指して、病院の世界標準である JCI (Joint Commission International 国際病院評価機構) の認証を目標に医師のみならず病院スタッフ全員が一丸となって、準備を進めております。皆様方の御理解・御支援を賜ります様よろしくお願い申し上げます。

最後に、地域の先生方、また医療スタッフの方々にご参加いただける各種研修会、セミナー、講演会などの開催も引き続き充実させていきたいと存じます。ご多忙とは存じますが、ぜひご参加頂き、情報交換および診療連携を深めてまいりたいと思っております。

今後ともよろしくご指導の程、お願い申し上げます。

副院長 竹内 正樹

糖尿病友の会『やちよアゼリア会』

みなさまこんにちは、やちよアゼリア会(糖尿病友の会)事務局をしております薄(うすき)と申します。

やちよアゼリア会は、八千代医療センターで糖尿病の治療を行っている患者さんやそのご家族を対象として平成20年に発足しました。

主な活動は、糖尿病情報誌「さかえ」(月に1回)・やちよアゼリア会会報の送付(2ヶ月に1回)、千葉県糖尿病協会が主催しているウォークラリーや市民のための糖尿病教室(それぞれ年に1回)への参加等があります。

また、やちよアゼリア会独自に世界糖尿病デー(毎年11月14日)に合わせて市民公開講座とブルーライトアップをおこなっております。



糖尿病は、国内では600万人(受診されている方は200万人)、その予備軍は1200万人~1500万人といわれています。血糖が高い状態を放置することで3大合併症(糖尿病性網膜症・糖尿病性腎症・糖尿病性神経症状)を引き起こす原因となります。糖尿病や合併症に対しては、正しい知識と、医療機関への受診が必須となります。

やちよアゼリア会は、今後も会員への情報提供と共に、市民公開講座などで市民の方々に向けても啓発活動を行っていきます。

『やちよアゼリア会』は、当院糖尿病・内分泌代謝内科かかりつけの患者さんが入会できます。

市民公開講座を11月中旬に開催予定。詳細は後日決まり次第、院内掲示等でご案内させていただきます。

